

開催日

平成26年2月6日 木曜日
開 会 18時30分
閉 会 20時35分

会議場

富士市立高等学校 2階 会議室

出席委員

上柳 正仁	櫻井 正人	塩田 真吾	柴田 怜奈
杉山 荘一	中川 加代子	吉村 孝夫	渡邊 利夫
齋藤 照安	小野 政幸	金親 徳行	植野 秀樹

校長あいさつ

- ・寒さが厳しい中、集まっていただき感謝する。
- ・委員の方には、1年間様々な場面でご支援をいただきありがたかった。
- ・新高校が開校し3年が経過し、1期生を卒業させる年になった。
- ・この3年間で正しかったのかそうでなかったのか私自身も不安になる時がある。
- ・1期生の卒業後の伸び率に期待したい。
- ・中学の恩師の姿に自分の教育の原点があり、迷った時にはそのことを思い出す。
- ・色々な数値で評価されると思うが、委員の方のご助言をお願いします。

海外探究研修報告

(総合探究科)

- ・12月1日から6日の日程で、マサチューセッツ州ボストンを訪問した。
- ・ハーバード大学でのキャンパスツアー、実際の講義を聴講するなど一流の大学を実感することができた。
- ・各クラスに分かれて地元の国際交流が盛んな高校を訪問し、生徒1対1で半日一緒に行動してもらった。
- ・ボストン美術館では英語の説明文を読んでその展示物を探すというようなプログラムを体験した。
- ・歴史的なマーケットであるクインシーマーケットを見学し、食事や買い物を体験した。
- ・一般的なスーパーマーケットにも買い物に行き、日本との買い物習慣の違いを実感した。

- ・ボストンは治安が非常に良く地下鉄も発達しているので、来年度は班別研修をしてみても良いかもしれない。
 - ・課題は時差の問題で、日本時間では明け方というような時間に説明を聞くだけのプログラムでは眠くなってしまい良くないと感じた。
 - ・生徒アンケートにおける評価も悪くない。
- (ビジネス探究科)
- ・総合探究科と同じ日程で台湾を目的地として実施した。
 - ・大きな目的の1つは様々なビジネスシーンを体験し、アジア経済を知ること。
 - ・目的の2つ目は、台湾の高校生との交流。
 - ・3つ目の目的は、1年次の夏季研修で講話を聞いた日本航空の飛行機に実際に搭乗し、客として日本航空に提言をすること。
 - ・日系企業「台湾森永」を見学し、また台湾最大の飲料メーカー「黒松」という企業も見学し、マーケティング戦略について学習した。
 - ・IT産業企業の集積する特区である市（新竹市）を訪問し、移動には台湾の高速鉄道を利用した。
 - ・現地の高校との交流では6時間という長い時間一緒に行動し、交流が深まった。
 - ・文化交流ということでお互いにダンスなど出し物を披露しあった。
 - ・生徒は「日本の力」を再確認することができた研修になった。
- (スポーツ探究科)
- ・各科と同じ日程でオランダとドイツを訪問した。
 - ・目的は国際的な視野を広めること。異文化への関心を高め競技者としての力を高めること。指導者としてのノウハウを学ぶこと。
 - ・オランダでは高校と大学が一緒になったような体育専門の学校の学生とスポーツや英語のゲームなどで交流した。
 - ・訪問した学校もプロを養成するだけではなく、指導者も育成するという本校と同じコンセプトであったので、非常に勉強になった。
 - ・オランダではスーパーマーケットで買い物体験もし、現地の人たちの普段の様子を知ることができた。
 - ・ドイツではスポーツシューレーやプロのスポーツクラブなどを見学した。
 - ・トランポリンやロッククライミングなど普段できないスポーツの体験ができた。
 - ・ドイツカップというブンデスリーグの試合も観戦することができた。
 - ・キンデルダイクの風車群やケルン大聖堂などヨーロッパの文化にも触れることができた。
 - ・行きの成田空港では航空会社の事情で出発が遅れ、バウチャーというクー

ポン券が発券されるなど違った経験もできた。

- ・帰国して少し経過した後にとったアンケート結果も良好で、生徒にとっては良い研修であったようだ。

平成25年度 活動報告

(進路状況：キャリア支援課)

- ・1月31日現在の1期生の進路決定状況の報告。
- ・商業高校の生徒ではなくなったので、就職希望者が約30名と全体の15%の人数となった。
- ・4年制大学進学者も昨年度38名で本年度は現在までの時点ですでに86名で昨年よりも倍増している。
- ・センター試験受験者も昨年度0名であったが、今年度は63名が願書を提出し、JRのトラブル等もあったが全員受験した。
- ・国公立大学合格者は現在の時点で9名、私立大学についても多くの合格をもらっている。
- ・本校だけではないと思うが、看護、医療系の学部を希望する者が多い。
- ・幼児教育や保育関係についても希望者が多い傾向である。
- ・公務員（消防男子2名、県警女子1名）合格が複数出たのは良かった。
- ・AO入試、公募制推薦などへの準備、指導を教員がきちんと行うことができ、良い結果に繋がったのだと思う。

(探究学習：企画研究課)

- ・年間の探究学習、キャリア学習、教員研修について報告する。
- ・3学年すべて揃い3年前期に単元「夢」が終了し、3年次生は探究学習の5つの単元の学習を終了した。
- ・10月23日には全校で探究学習についての発表会を開催した。（1年ポスター展示、2年ポスターセッション、3年各クラス代表者が10分のスピーチ）
- ・1年次生は前期に学んだことを各グループでまとめた。
- ・2年次生は前期に市役所プランを行い、市の抱えている課題に対して高校生なりの提案を考えて発表した。
- ・現在1年次生はディベート、2年次生はグループではなく初めて個人でテーマを決めて学習を行っている。
- ・2学年とも3月18日に発表会があるので、足を運んで欲しい。
- ・教員の研修は6、7、8、10、11、1、3月と実施している。
- ・探究学習についての研修が主であるが、教科指導の研修も2回行った。

(部活動実績報告等：教頭)

- ・全校生徒約650人がどこかの部活に必ず所属している。
- ・運動部15、文化部18、それ以外に生徒会は部活動の1つとして活動し

ている。

- ・柔道女子、機械体操など本年も全国大会で活躍した。
- ・水泳部や陸上部は下級生なので、来年度も活躍が期待できる。
- ・チアリーダー部は来年度茨城県で開催される全国高等学校文化祭への参加が決定している。
- ・剣道部が東海大会出場。さらに、14の部が県大会に出場した。
- ・野球部は夏の大会ベスト4と非常に頑張った。
- ・文化部はビジネス部が商業高校フードグランプリ商品開発部門に出品、吹奏楽部は県大会に出場した。
- ・生徒、保護者、教員に対して今年度についてアンケートを実施した。
- ・生徒は自宅学習の時間の短さが今後の課題で、学校での友人関係や部活動に関してはある程度満足しているという結果が出ている。
- ・保護者からは進路指導への期待等が寄せられている。

平成26年度 教育方針説明・承認（齋藤校長）

- ・探究学習とキャリア教育については、引き続き充実させていく。
- ・この3年は吉原商業高校として入学してきた生徒も在籍していたので、多くの学科やコースの生徒が混在していた。
- ・今年度は新高校の生徒で3学年揃い落ち着いた。
- ・教育理念の共通理解が少し不足しているため、教員研修を多く実施した。
- ・事務室の職員も大変協力してくれ、助かっている。
- ・生徒たちには探究学習やキャリア教育の中で勉強の必要性を感じて欲しい。
- ・新しい取組は他校にも真似されるので、それに対抗して新しいことを続けていくのにも疑問がある。
- ・探究学習によって教科の授業時数が不足しているのも悩みの1つ。
- ・日ごろの探究学習を確かめる場が海外探究研修だと考えているので、「海外探究研修の充実」を教育方針として挙げた。
- ・市民の学校と言う場合の立ち位置がどこなのかが分からない時がある。
- ・基本的には大きな教育方針の変更はないが、数点追加した。
- ・「いじめ防止等のための人間関係づくりを育てる学校」という項目を追加した。
- ・「学科の特色を活かした教育を目指す学校」ということも追加した。
- ・来年度は以上のことを追加し、取り組みたい。
- ・委員の方のお知恵をいただきたい。

○説明に対する質疑応答

(質問)

・「市民の学校」の捉え方のズレというのは具体的に何か。

(回答)

→吉原商業の時には入学できていた生徒が入学できなくなった、とい

(承認)	う声もあるということ。 ・承認
<p>グループワーク</p> <p>(Aグループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッズジョブの体験学習など取組は良い。今後もアウトプットができる場所をたくさん作って欲しい。 ・評価、結果を気にしすぎている。有名大学を卒業したから良いということでは決してない。 ・進学者が増えることは良いことだが、高卒者を採用したい企業にとっては痛手である。 ・市立高校で色々なことを学んだ吸収力のある人材を採用したい。 ・良い学校に変わってきていると思う。 <p>(Bグループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の持つイメージ、保護者の要望など様々なベクトルがある。 ・進学とキャリア教育という2次元なことではなく、多元的な取組を展開して欲しい。 ・幅広い出口（進路）を実現するためのキャリア教育をお願いしたい。 ・人前で話すことはできるが、自分の考えを文章にする力が不足しているようなので、そのような力の養成に取り組むべき。 ・今後の3年間もチャレンジする方向は失わないで欲しい。 <p>(Cグループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の特色を生かした教育の実践、という教育方針はとても良い。 ・市外、県外出身者がスポーツで活躍してくれてそれで、校名や富士市が広く知られるのは悪いことではない。 ・良い指導者がいて良い教育がなされるということは、魅力的な学校に繋がると思う。 ・行ける学校ではなく、行きたい学校を目指して欲しい。 ・ビジネス探究科を活かして欲しい。 ・富士市の産業を支えているのは高卒で就職する生徒なので、そのような子どもたちも育てて欲しい。 ・地域防災では野球部が積極的に参加してくれありがたい、高校生は災害発生時に大きな担い手になるので期待している。 	
次回日程について	
閉会	